



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 大西 浩司
一部53円

第42回全国消防殉職者慰霊祭

令和5年9月14日(木)



日本消防協会ニッショーホールにおいて、内閣総理大臣、総務大臣ご臨席のもと、第42回全国消防殉職者慰霊祭が厳粛に執り行われました。新たに三柱の御霊が合祀され、合わせて御霊は五七七八七柱となりました。消防使命達成のために全力を尽くすなかで、尊くも職に殉じられた方々に対し、心から敬意を表し、深く感謝申しあげ、安らかなご冥福をお祈り申しあげるとともに、ご遺族の皆さまのご平安をお祈り申し上げます。
火災や地震、台風や集中豪雨など様々な自然災害から「住民の生命・財産を守る」という使命を遂行する消防の現場活動には、困難が伴うこともあります。何より、自身の安全を確保し、事故なく、無事に活動いただけるよう、消防関係者一同、被害の極限防止に努力精進して参ることを固くお誓い申し上げます。

第25回全国女性消防操法大会

日時：令和5年10月20日(土) 9:00~16:00

場所：東京都臨海広域防災公園

爽やかな秋晴れのもと、4年ぶりに全国女性消防操法大会が開催されました。関東大震災から100年の節目となる本年に、東京都で開催され、全国各地から女性隊員が集い、日頃の成果を発揮する場は大盛況でした。
愛媛県からは、今治市消防団が出場し、日頃の訓練で培われた技とチーム力を披露しました。
操法大会の実施・出場については、いろいろな意見がありますが、大会に出場し成果を発揮するために、各地域で積み重ねた訓練は、スキルの向上だけでなく、チームワークの向上を生み、地域防災力の向上につながっていると考えます。引き続きご理解のほどよろしくお願いたします。



二〇二三年度全国統一防火標語

火を消して 不安を消して

つなぐ未来

令和5年度正副団長消防長等研修会

日時：令和5年10月17日(火) 14:30~17:00

場所：松山市総合コミュニティセンター

カメラリアホール

今年の正副団長消防長等研修会は、多くの皆さまにご参加いただき、従来の形で実施することができました。
第1部の若手消防団員意見発表では、「女性消防団員に出来ること」と題し発表した東温市消防団 西原陽子さんが最優秀を受賞しました。西予市消防団の松本光平さんは「地域防災の中心的役割 消防団員存続のため」と題し、団員確保の重要性と難しさを、上高町消防団の増成稜士さんは「未来の消防団員」と題し、すそ野を広げていくための広報活動について等、地域防災における消防団活動について、自分たちに出来ることは何か、それぞれ課題や現状を発表しました。

第2部の研修会では、防衛省陸上自衛隊松山駐屯地 中部方面特科隊長 兼ねて松山駐屯地司令 細川香宣様に、「自衛隊の災害派遣と備え」についてご講演を賜りました。自衛隊の任務やしくみ、中部方面隊・松山駐屯地の概要などに加え、司令自身の指揮官としての考え方や地域との連携に一体化していくと考えているのか、防災の観点からは、消防との連携についてのアイデアなど、とても興味深いお話を伺うことができました。今日の研修会が、これからの連携強化の糸口となるよう、引き続きよろしくお願いたします。
ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る **MORITA** 消防ポンプ自動車No.1メーカー

新基準活動服 新基準による消防団員活動服

SHIBAURA 消防ポンプ・防災機器 シバウラ可搬消防ポンプ

ジェットホース 操法大会最適ホース コンペVシリーズ

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyoukai.co.jp

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp

支部だより

中予圏域消防団合同訓練を実施しました



東温市消防団
副団長
高市 勝

令和5年8月26日(土)に、久万運動公園多目的グラウンドにて、「令和5年度愛媛県総合防災訓練」が開催され、訓練プログラムの一つとして中予地区の消防団合同訓練が開催されました。

今回の訓練想定は、午前8時30分頃、伊予灘沖を震源とする大規模地震が発生し、久万高原町内の住宅密集地において大規模火災が発生、久万高原町消防署及び消防団で消火活動を実施するが、折からの強風により飛び火が林野に延焼拡大し、管内の消防力では対応困難となったため、久万高原町消防団が「愛媛県消防団広域相互応援協定」に基づき、松山市・伊予市・松前町・砥部町・東温市の中予圏域消防団に応援要請を行い、合同で中継送水隊形を構築し、消火活動を行うという訓練となりました。

中継送水隊形の構築以外にも、受援側の久万高原町消防団と、応援側の中予圏域消防団の連携及び通信・情報共有体制の確立を目的とした防災防ぎょ訓練(現場情報連絡、中継消火活動、現場運用等)のほか、愛媛県消防防災ヘリコプターによる空中消火も行われ、航空隊との連携強化も併せて行われました。

今回の合同訓練で感じたことは、管内の災害対応時には当たり前のように行っていることが、他市町の消防団と合同で活動する場合には、思うような意思疎通をとることが難しい状況になることが分かりました。具体的には、情報を共有するツールが消防団によりそれぞれ異なっており、即時の情報共有に時間がかかってしまい、合同活動時の情報共有や意思決定の伝達方法に一番の難しさを感じました。

今後、高い確率で発生が予想されている南海トラフ地震や、激甚化する自然災害が発生した場合には、各市町の消防力だけでは対応が難しく、近隣市町の消防団が一致団結して災害対応にあたるのが必至となっています。

そのためにも、今回のような合同訓練を継続して行っていくことはもとより、普段から「お互いの顔の見える関係性」を築き上げ、さらなる消防力の強化に努めていく必要があることに気が付くことができ、大変有意義な合同訓練となりました。

最後になりましたが、今回の合同訓練の実施にあたり、ご協力をいただきました各関係機関ならびに消防団員の皆様に感謝申し上げます。



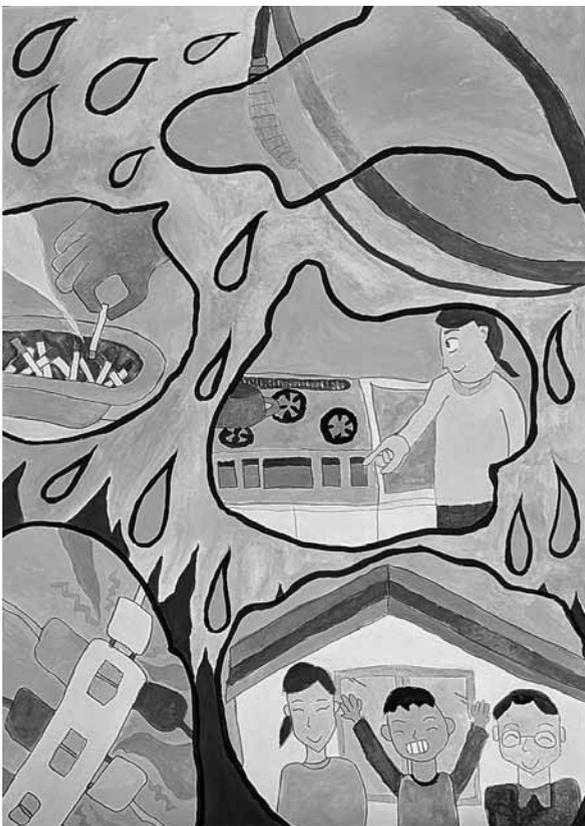
生活協同組合全日本消防人共済会主催 令和5年度防火ポスター図案 第23回全国中学生「防火防災に関する作文」

愛媛県内の各市町教育委員会および消防団所管課にご協力いただき、各市町小中学校・各消防団による選考が行われた作品(防火ポスターは29名の小中学生、防火防災に関する作文は15名の中学生)の応募がありました。全国コンクールに愛媛県から推薦した作品は次のとおりです。

《防火ポスター図案》



東温市立川上小学校 5年 露口 瑛大さん



八幡浜市立白浜小学校 6年 河野 雅斗さん

《防火防災に関する作文》

あの時はありがとう

八幡浜市立愛宕中学校 一年 上田 永久さん

五年前の二〇一八年七月七日の朝、僕はそれまで聞いたことがない大きなサイレンの音で目が覚めた。ガタガタと母が慌てた様子で階段を降りていく音。僕は何が起きているか分からず、しばらくボーッと布団の上に座っていた。

しばらくすると、一階から大きな声で「良くん起きて！早く来て。」母が兄を呼んだ。僕も急いで一階へ行った。母が玄関のドアを開け、外を見ていた。僕と兄も外を見た。一瞬でこの大きさを理解し、驚いた。家の前の道路に川のように水が流れ、鯉が泳いでいた。そのうち、家の駐車場からタイヤが流され始め、バスケットボールが水に浮き、流されそうになっていた。その時、母が、家の中に水が入ってこないようにタイヤを玄関の前に並べるように兄に伝え、水の中にタイヤを取り入っていった。母から受け取ったタイヤを兄と一緒に二段重ねた。

「ダメだ。もう避難できない。屋根裏に逃げるよ。大事なものを二階にはこびなさい。」と母が言った。水やお米、お菓子、炊飯器、食料品などを兄は運んでいた。僕の大事なものは、急いで両手に持てないほどのゲームカセット、スイッチ、教科書やランドセルを一生懸命運んだ。僕は、怖くて、他に何をしようか分からず、ただ兄の後ろをついて回った。水が流れている道路を挟んで、母と近所の人が話をしていた。「テレビがつかなくなった」「トイレからゴボゴボ音がし

て流せなくなった」不安だった。そのとき、家の前を消防団の人がゴムボートに乗って通って行った。「大丈夫ですか？」消防団の人の姿を見るとなぜか安心できた。幸いにも水が家の中に入ってくることはなかった。朝になり、外がどうなっているのか気になって、玄関のドアを開けた。水は引いていたが、道路の白線は泥に埋もれ、見えなくなっていた。そして、ひどい悪臭がした。僕は気分が悪くなった。父は単身赴任で家になかったため、母と一緒にホースで水を流しながら、デッキブラシで一生懸命泥を落とすとしていった。思った以上に水を含んだ泥は重たくて、きれいにするのが大変だった。その時、小学校の校長先生が、被害状況を見るために回ってきた。「何か、手伝えることがありますか？この辺は被害がすごいので、授業を変更して、みんなでお手伝いしますよ。」と声をかけてくださった。うれしかった。

僕はこの出来事で、自然災害の怖さと、助け合いの大切さを知った。災害は突然起こるので、いざというとき、まず自分がどのような行動をとるべきかを普段から考えておくことが大切だ。そして、今回は、僕たちが消防団や校長先生に助けられる側、声をかけられる側だったが、助ける側にも回れるように考えておかなければならない。一人暮らしのお年寄りや避難場所などは、町内全体で把握しておきたい。いざというときに冷静に判断して行動できるように。



女性消防団だより①

女性消防団員としての今後について



上島町消防団
岩城方面隊第3分団
班長 古林直子

私が消防団に入団したきっかけは、平成十八年に岩城地区に女性消防団を初めて発足する際、声がかかった事です。

当時は、三人目の出産を控えていましたが、女性が消防団員として活躍できる機会がある事に魅力を感じて入団したのを覚えています。

すべてが初めての経験であり、不安もありましたが、それ以上にワクワクする期待の方が大きかったのを思い出します。

消防団員になり十七年が経ちますが、平成二十七年の出初式では、夫と共に夫婦団員の表彰を受けました。火災が発生した時や全体訓練時には、子ども達を両親に預け、夫婦で出動や参加をしました。今現在こうして消防団員として活動を継続できているのは、家族の協力があったからだと感じています。

女性消防団員の活動は、月に一度の放水訓練、春と秋に行われている全国火災予防運動期間中の方面隊訓練、出初式への参加、幼年消防クラブの防火パレード、普通救命講習への参加等多岐にわたります。また、火災が発生した場合の消火活動や行方不明者の捜索等も行っています。私は、現場での消火活動の経験はありませんが、役場で待

機し火災現場の確認や情報連絡等の後方支援を行っています。一人では大きな事はできませんが、女性消防団員として活動を共にする仲間がいるので心強く感じています。

また、平成二十九年年度の愛媛県女性消防団員加入促進アピール大会に参加した際、県内の女性消防団員の意見発表では活動内容に深く感銘を覚えました。それぞれの地域の特徴を生かした活動や、女性ならではの目線による広報活動等は大変勉強になりました。

小さなことからコツコツと、町内の女性消防団員で力を合わせて継続的に活動していくことが大切だと感じました。

上島町の女性消防団員の割合は約8%となっており、全国平均の4%弱を上回っています。団員の充足率が9割に届かないのが現状であり、団員確保が課題となっています。

今後は、一人でも多くの方に入団していただけるよう広報活動に積極的に係わっていきたくと考えています。

そして、地域に寄り添い、日々の訓練に参加し、女性消防団員として活動を続けていきたいと思えます。



一般住民の防災活動等

自主防災活動について



伊方町役場
根来孝多

伊方町は、日本一細長い佐田岬半島にあり、温暖な気候のもと急峻な斜面には段々畑が広がり、柑橘栽培を主体とした農業と瀬戸内海と宇和海に広がる良好な漁場を資源とした漁業が盛んな、実り豊かな美しい自然に恵まれた風光明媚な地域です。

自然との共存により健康的な生活を営む半面、佐田岬沿いの地形特性として、平地が少なく、急傾斜地等の危険地域が諸所に点在し、長い海岸線沿いや急傾斜地の狭い地域に密集する地区が多く、浸水害、土砂災害等が発生する可能性が高いことは周知の事実です。

しかしながら、近年において大きな被害の出る災害はないものの、南海トラフ巨大地震などの発生も懸念されているため、各地区の消防団と連携した自主防災活動、つまり「自助」「共助」活動の錬度向上が必要不可欠と考えます。

そのために、伊方町では、55地区54の自主防災組織が活動していますが、毎年9月の第1日曜日に、南海トラフ巨大地震が発生し、大津波警報が発表された想定で町総合防災訓練を行っており、毎年、多数の自主防災会の参加を得られるよう尽力しています。

また、避難訓練の実施にあわせ各地区の自主防災会計画で消防団を指導部とする消火訓練等も積極的に行われています。消防団員の地域連携や錬度向上の上でも非常に重要と考えます。

あわせて、四国唯一の原子力発電所が立地する伊方町として原子力に起因する様々な災害への対応準備も重視しており、毎年10月頃、愛媛県、各官公庁関係部署と各地区自主防災組織及び消防団との連携を図り、原子力防災訓練を実施し、起こってはいけない非常時に備えられる消防団を育成するため尽力しています。

私は、伊方町消防団の事務局として2年目となりますが、いろいろな災害が予想される現状から災害があっても「愛媛県が：伊方町が：何とかしてくれるよ。」ではなく「自分の命は自分で守る」ため臨機応変に活動できる自主防災組織と消防団の育成を目指し、今後も昼夜を問わず、活動していく所存です。

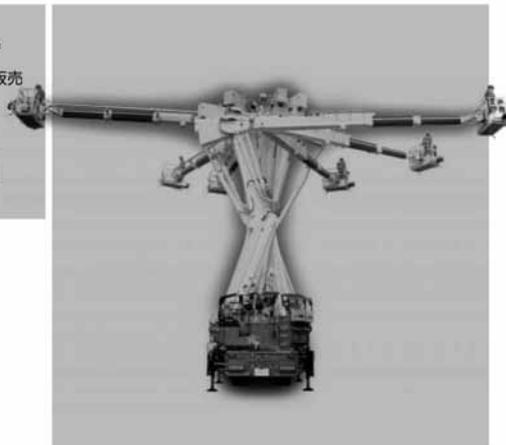


株式会社 新日本ライフテック

<http://www.sn-lt.com>

消防防災設備 / 給排水設備 設計・施工・保守
各種消防ポンプ車 / 救急車 / 高度医療機器 販売
防災用品 / 各種消火設備 販売

日本機械工業 ヤマトプロテック
株式会社代理店 株式会社代理店



南予営業所
〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社
〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767

<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。

多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。コンパクトにまとめあげたCD-I

小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

女性消防団だより②

松野町女性消防団の取り組みについて



松野町消防団本部
班長 谷口 真美

私たち松野町女性消防団は、平成14年12月1日に発足し、7名の団員でスタートをしました。しかし、年々結婚や出産、家庭の事情等を理由に退団者が増え、平成30年には団員数が1名のみになってしまいました。その後、平成31年4月に私は入団することになるのですが、徐々に団員も増え、現在では4名で活動をしています。

松野町消防団の団員数は、令和5年10月1日現在で152名ですが、定数200名ですので定数からは大幅に下回っております。10年前の平成25年4月1日現在と比較しますと、15名減少しております。

近年、町内における担い手の減少により、若年層の団員確保が困難になっていたりことや消防団員のサラリーマン化も進んでおり、就労先が町外であることから、活動ができないとの理由で入団希望者も少なく、年々団員数が減少している状況です。

このような現状の中、女性消防団員も少人数ながら、春期・夏期訓練会、年末特別警戒、消防出初式、防災イベント、自主防災会による防災訓練への参加を行っております。

今年5月に実施した春期訓練会では、鬼北消防署員から指導をいただき、規律訓練や防災ポートの取扱い講習を行いました。また、7月には夏期訓練会を行い、鬼北消防署員指導のもと救急救命講習を実施しました。講習では、「心肺蘇生法」として、マネキンを使用した胸骨圧迫の方法やAEDの使用法について学んだほか、「止血法」として、三角巾を使った直接圧迫止血法、「固定・搬送法」として、応急担架の作成方法や四肢骨折時の固定方法を学びました。救命救急については、今後の女性消防団の活動において最も力を入れていきたいと思っておりますので、とても勉強になりました。

新型コロナウイルスの影響により町内施設等へ訪問ができておりませんが、保育園や小中学校、事業所等に出席し、救命講習会を実施したいと考えております。今年度、私を含め2名の団員が、応急手当普及員の資格を取得したこともあり、応急手当の必要性や心肺蘇生法の普及を推進するため、講習会の実施に取り組んでいきたいと思っております。私たちが女性団員は、男性団員のように災害現場で直接活動することはありませんが、地域住民の生命、身体、財産を守るため、女性ならではの活動が必要だと考えております。特に、女性が活動するには、家族の理解と協力はもちろんのこと、職場や地域住民の理解と協力も必要となります。

現在、4名での活動では、大変な時もあります。女性消防団員の確保や消防団活動を行なっていく中で課題はたくさんございますが、今私たちにできることは、女性消防団員同士の絆と連携を深め、これからも地域との繋がりを大切に女性ならではのきめ細やかな活動に取り組んでいきたいと思っております。



令和6年出初式日程表

(R5.10.17現在)

上段:晴天 下段:雨天 (公財)愛媛県消防協会

日付	曜日	市・町	時間	場所
1月13日	土	砥部町	10:00	砥部町陶街道ゆとり公園
			10:00	砥部町陶街道ゆとり公園 体育館
1月14日	日	松前町	10:00	松前公園多目的広場
			10:00	松前公園体育館
3		四国中央市	10:30	しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール)
			10:30	しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール)
4	1月21日	松山市	10:00	松山市民会館 中ホール、松山市堀之内 城山公園 ※一般観覧は10:55~
			10:00	松山市民会館 中ホール ※消防関係者のみ
5		伊予市	9:30	伊予市双海町 しもなだ運動公園 しもなだグラウンド
			9:30	伊予市双海町 しもなだ運動公園 しもなだ体育館
6		愛南町	10:00	愛南町南レク城辺公園
			10:30	愛南町御荘文化センター
7	1月28日	鬼北町	9:00	鬼北総合公園グラウンド
			9:00	鬼北総合公園体育館
8	2月4日	西予市	9:30	西予市宇和運動公園
			10:30	西予市宇和文化会館
9	2月11日	松野町	9:30	森の国ドーム
			9:30	森の国ドーム
10	2月18日	久万高原町	10:00	久万公園グラウンド
			10:00	久万B&G海洋センター
11		内子町	9:30	内子町運動公園総合グラウンド
			10:30	内子町五十崎自治センター共生館ホール
12	2月25日	宇和島市	9:00	市総合体育館駐車場
			9:00	市総合体育館
13		新居浜市	9:00	山根市民グラウンド
			10:30	新居浜市民文化センター 大ホール
14	3月3日	上島町	10:00	上島町弓削港 物揚場
			10:00	せとうち交流館(上島町弓削離島体験交流施設)
15		東温市	9:30	東温市総合公園 多目的広場
			9:30	東温市ツインドーム重信 アリーナ
16		大洲市	9:30	大洲市若宮 五郎大橋上流河川敷グラウンド
			10:30	大洲市民会館
17	3月10日	今治市	9:00	今治市営補助グラウンド
			10:00	今治市公会堂
18		八幡浜市	10:00	八幡浜市文化会館ゆめみかんホール
			10:00	八幡浜市文化会館ゆめみかんホール
19	3月17日	西条市	9:00	西条市加茂川河川敷多目的広場
			10:00	西条市総合文化会館大ホール
20		伊方町	10:00	伊方町中央公民館
			10:00	伊方町中央公民館

令和6年市町出初(観閲)式予定

最強コンビ



トーハツ VCPROIII



キンバイスーパースランナーホース

ポンプ操法



愛媛県イメージアップキャラクター 許諾番号 2805024 みぎやん

株式会社 ヤマダ

1910年創業



小型消防ポンプ VF シリーズ
電子制御 燃料噴射装置



消防ポンプ自動車
化学消防自動車



テイセン救助工作車
キンバイ消防ホース



ヤマトプロテック
粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ

FT500
B-2級

FT450
B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に
間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ

FF500ZXi
B-2級

FF450ZXi
B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA

信頼と実績の
キャブレタシリーズ

水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号